

事業 優先順位		1 細事業:地域の学習拠点づくり事業				整理 番号		03		
目 的		公民館が地域における社会教育活動の学習拠点となるような事業展開を図る。								
目 標		公民館において、地域の課題解決のための講座、地域を知るための「地域グルメ」講座や地域人材を講師とする講座を開催する。 また、地域にある施設としての公民館の役割を果たすため、さまざまな社会教育課題を解決するための講座を開催する。								
事業 実施主体		直 営	事業開始 年 度	昭和52年度	根拠 法令					
事業費・財源				平成24年度	比 較				平成24年度	比 較
	事業費（決算額）（千円）			900			総コスト（千円）		1,297	
	財源内訳	一般財源		900			内 訳	事業費	900	
		国府支出金		0				人件費	397	
		地方債		0				公債費	0	
		その他特定財源		0			一人あたり（円）		11	
				0			世帯あたり（円）		28	
				0			参 考	職員数（人）	0.05	
				0				再任用職員数（人）	0.00	
	今後の方向性		各地域においても課題が必ず存在するので、地域との連携強化に努め、様々な課題解決のための事業を実施する。							
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民					
	A	A	B							

事業 優先順位		4 細事業:いきいき講座				整理 番号		04		
目 的		市民の社会教育活動を推進するため、現代的課題に関する学習機会を提供すること								
目 標		現代的課題に関する課題をテーマに、5回シリーズの講座を年2回開催する。								
事業 実施主体		直 営		事業開始 年 度		平成15年度以前		根拠 法令		
事業費・財源	財源内訳	事業費 (決算額) (千円)		平成24年度		比 較		コスト情報・従事職員数		
				303				総コスト (千円)		
		一般財源		303				事業費		
		国府支出金		0				人件費		
		地方債		0				公債費		
		その他特定財源		0				一人あたり (円)		
				0				世帯あたり (円)		
				0				職員数 (人)		
				0				再任用職員数 (人)		
今後の方向性		現代的課題を学習する機会であるので、今後もテーマ設定等を工夫しながら、継続する。								
評 価	妥当性		効率性		有効性		対象者		河内長野市民	
	A		A		B					

